

相談支援・就労支援について

各種相談に対応しています。詳しくは、患者支援センターにお問い合わせください。

Tel.0836-22-2580

■患者支援センターによる相談支援

入院患者さんをはじめ、退院後の外来患者さんや当院へ受診歴のない患者さんのご相談に対して、看護師や医療ソーシャルワーカーが広く対応しています。療養上の意思決定や、アドバンス・ケア・プランニング（ACP）などについて考えることができるよう、情報の提供や支援を行っています。

対応日時：月～金曜 8:30 ～ 17:00

◇相談例◇

- 医療に関する公的な制度
- 入院・通院中の医療費や生活費
- 退院後の療養生活
- 就業・社会復帰に関する心配事や不安
- セカンドオピニオン

なお、脳卒中相談窓口を設置し、上記に加えて各種情報提供を行っています。

- 脳卒中の予防
- 治療
- リハビリテーション
- 介護
- 就学・就労など



■専門機関と連携した就労支援

当院では専門機関と連携し、治療と仕事の両立について支援しています。

【治療と仕事の両立支援相談窓口】

山口県産業保健センターの両立支援促進員が、「病気でも働きたい」という患者さんの気持ちに寄り添い、治療と仕事の両立ができるよう支援しています。

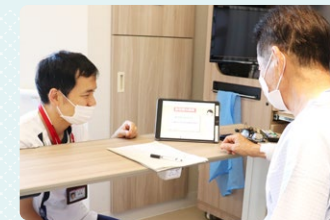
対応日時：毎週火曜 11:00 ～ 15:00

【ハローワーク宇部による出張就職相談】

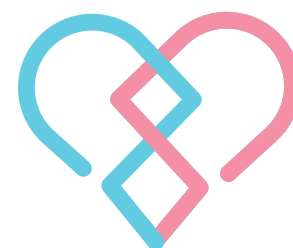
ハローワーク宇部の就職支援ナビゲーターが、能力や適性、病状、治療状況などを考慮して就職を支援しています。

対応日時：毎週木曜 10:00 ～ 15:00

 **SCD** Stroke and Cardiovascular Diseases Support Center
山口大学医学部附属病院
脳卒中・心臓病等総合支援センター
〒755-8505 山口県宇部市南小串1-1-1 TEL:0836-22-2111 (代表)



シームレスな診療連携と
包括的な支援体制で



SCD Stroke and Cardiovascular Diseases Support Center

山口大学医学部附属病院
脳卒中・心臓病等総合支援センター

大切な命と
ご家族をサポート



脳卒中・心臓病等総合支援センターを開設しました

センター長挨拶

Greetings from the Director

センター長 石原 秀行 ISHIHARA HIDEYUKI



脳卒中・循環器病は、発症すると、患者さん本人はもとより、ご家族の人生にも大きな影響を与えてしまう病気です。脳卒中・心臓病の治療は、集中的な治療を要する急性期、リハビリが重要な回復期、そして維持期と、長い期間を患者さん本人だけでなくご家族を含めたバックグラウンドにも配慮して進めなければ成り立ちません。

脳卒中や心臓病になることを防ぐとともに、罹患された患者さん、あるいはそのご家族の方々の困難と不安をやわらげ、支援する目的で、2024年7月、本センターを設置しました。

さらに、本院のみならず、県内の県立病院をはじめとする脳卒中・心臓病を診療している基幹病院、リハビリテーション病院あるいは地域の医療施設における看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、作業療法士、医療ソーシャルワーカー、ケアマネージャー等をつなぎ、患者さんやそのご家族を中心として各職種が連携をとることを目指しています。患者さんあるいはそのご家族の方で、お訊きになりたいことがありましたらどうぞ遠慮なくご相談ください。

副センター長挨拶

Greetings from the Deputy Director

副センター長 佐野 元昭 SANO MOTOAKI



脳卒中・心血管疾患（CVD）は後期高齢者の死亡原因の第一位であるとともに、要介護となる原因疾患の第一位でもあります。

現在、「ストップCVD・健康長寿」のスローガンの下に脳卒中、心不全および血管病（急性心筋梗塞、大動脈解離、大動脈瘤破裂、末梢動脈疾患）を重要3疾患と位置付けて、「脳卒中・心血管疾患の予防や正しい知識の普及・啓発」、「保健、医療および福祉に係るサービスの提供体制の充実」などを目標に、地域ごとに対策が強化されつつあります。

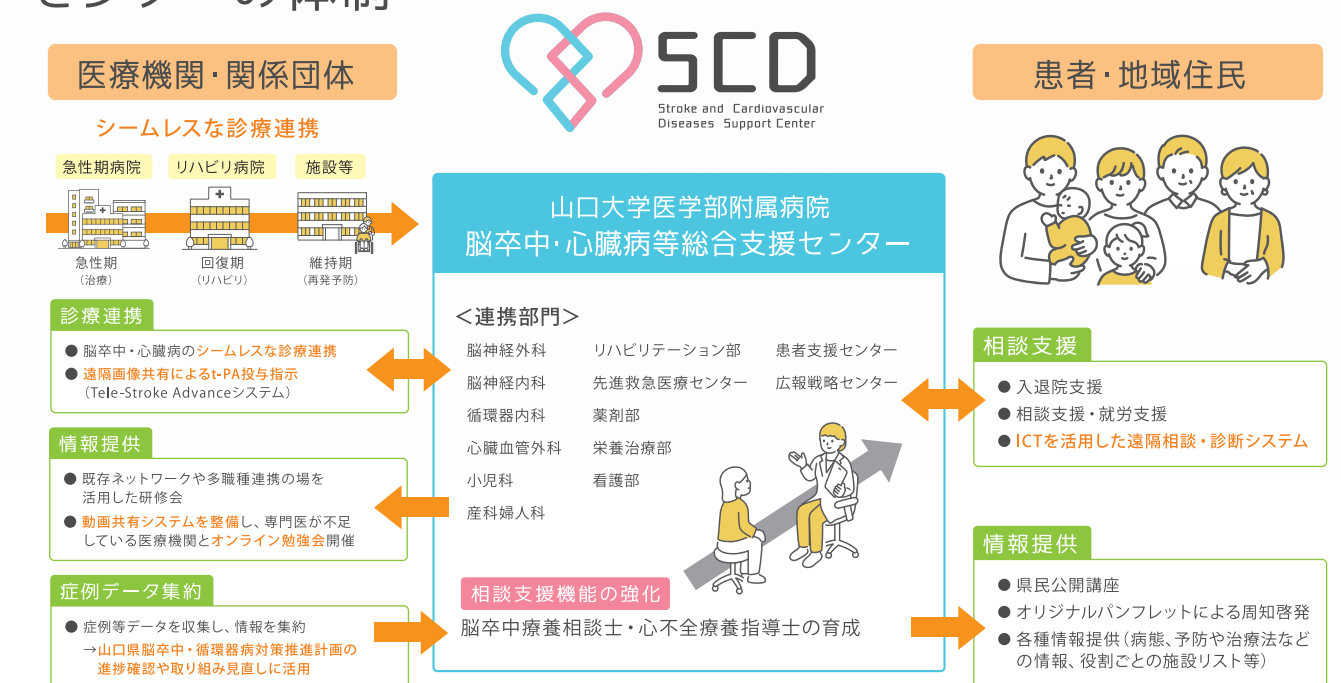
本センターでは、山口県の各医療圏における脳卒

中、心不全および血管疾患の相談窓口の総本山として、脳卒中・心血管病の後遺症を有する患者さんに対する支援をはじめ、予防目的の健診の普及や取り組みの推進、救急搬送体制の整備、心臓リハビリテーションに関する取り組みなど、さまざまな支援・取り組みを行っています。また、小児期・若年期から配慮が必要な心血管疾患（先天性心疾患など）への対策にも取り組んでいます。なにとぞよろしくお願いいたします。

センターの役割

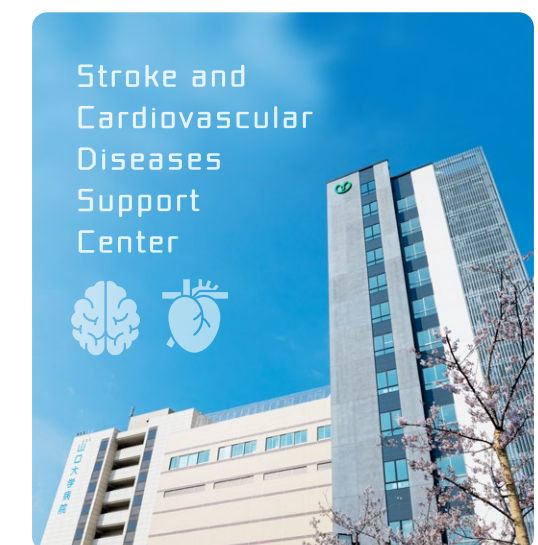
本センターでは、脳卒中・心臓病等の予防に関する地域の方々への啓発活動や情報提供、相談対応などを行います。また、県内の各医療機関との研修会を開催し、患者さんの支援方法などの情報提供を通して各医療機関との協力体制を強化し、包括的な支援体制を構築していきます。

センターの体制



センターの主な取り組み

- 脳卒中・心臓病等の病態、予防法、治療法などの情報提供と啓発
- 病期に応じた診療やリハビリテーションが可能な医療機関の情報提供
- セカンドオピニオンを受けることができる医師の紹介
- 脳卒中・心臓病等の療養上の相談や介護相談
- 就労・就学相談
- 妊娠・出産の相談
- 遺伝相談
- 移行期医療における移行支援
- 心理サポート
- 患者会の情報提供および支援
- 療養上の意思決定支援
- アドバンスケアプランニング（ACP）等に関する情報提供および支援



脳卒中とは

脳卒中は、**脳血管が閉塞する「脳梗塞」と、脳血管が破れる「脳出血」、「くも膜下出血」**をまとめた病名です。いずれも大きな後遺症につながる病気で、早く、的確な対応が必要です。脳卒中の中でも、**治療が早ければ早いほど効果があるのが「脳梗塞」**です。

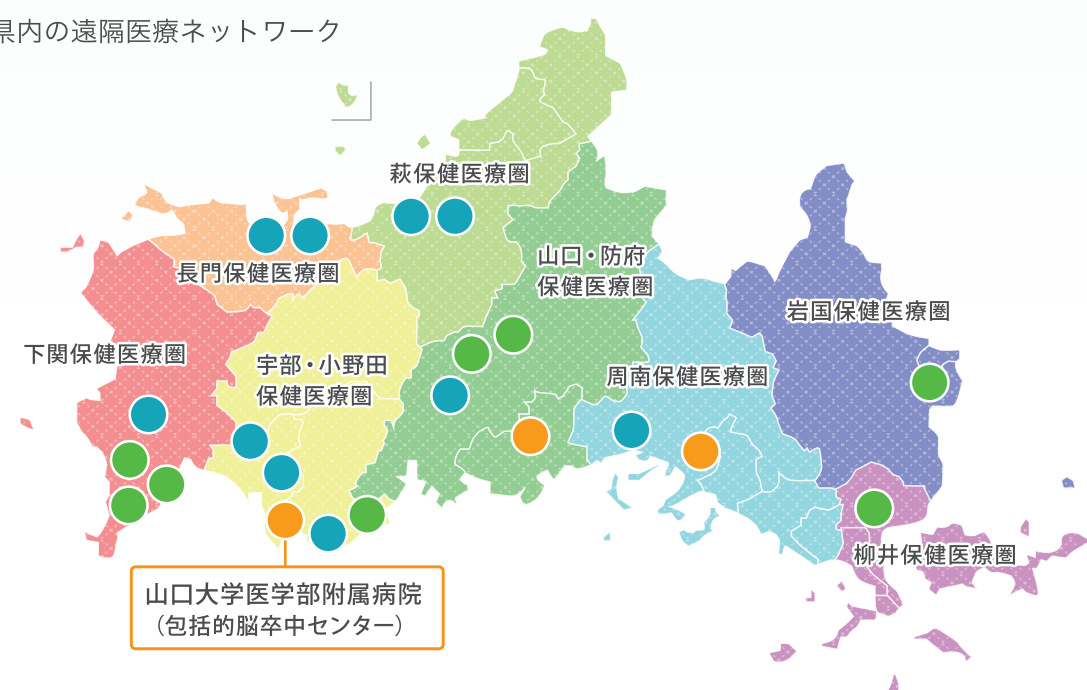


脳卒中の治療について

当院の脳卒中チームは、24時間年中無休の体制で手術とカテーテル治療に対応しています。当院では遠隔医療を実践しており、山口県内全ての地域の患者さんを受け入れて治療する体制を整えています（※1）。

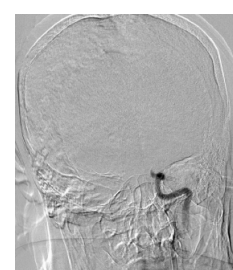
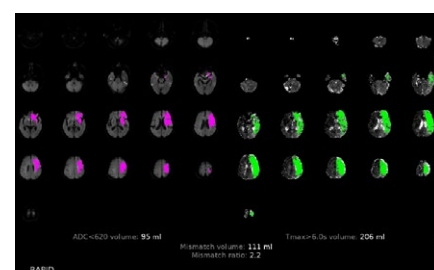
また、毛細血管レベルでの血流動態を画像化した灌流画像（※2）を用いて、閉塞血管に対する再開通療法において精度の高い診断をもとに治療を行っています。

※1）県内の遠隔医療ネットワーク



- **一次脳卒中センター（PSC）コア** …24時間365日脳塞栓症に対する血管内治療ができる施設
- **一次脳卒中センター（PSC）** …脳梗塞におけるt-PA治療が24時間365日できる施設
- **遠隔医療ネットワーク配備病院** …遠隔画像診断治療補助システム（Telesa）が配備された施設

※2）灌流画像 灌流画像により、再開通することで救うことが出来る領域を診断することが出来る



血栓回収
(再開通療法)



脳卒中の支援について

当院は脳卒中の急性期治療と急性期リハビリテーションを担う中で、地域の回復期リハビリテーション施設や維持期の管理を行う医療機関等と緊密な連携を取っています。当センターは、その全ての段階において医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、リハビリテーション専門職など多職種が連携・協力し、患者さんとそのご家族を支援しています。また、地域住民の皆様の脳卒中に関する疑問や、悩みに応じた支援も行っています。

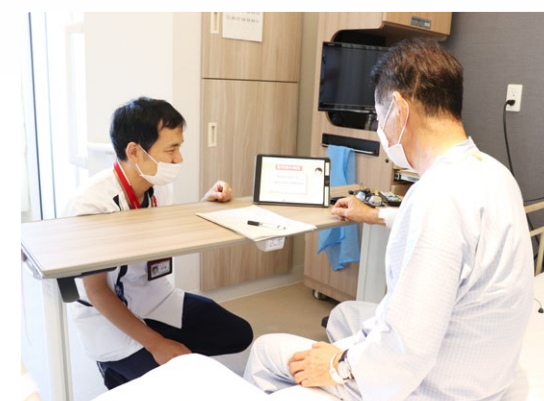


脳卒中チームのスタッフ

1 脳卒中の再発防止、治療、リハビリテーションに関する情報提供をしています。

脳卒中で入院中の患者さんとそのご家族に、再発防止やリハビリテーションなどについて、動画やパンフレットを使用し情報提供をしています。医療、介護、福祉、就労、障害に関する相談支援も多職種で対応して

います。そのほか、脳卒中の予防、早期発見、治療について地域住民の皆様に向けた公開講座などを開催しています。



病気や治療について動画で説明しています



リハビリでは生活の質（QOL）の回復・改善を図ります

2 患者さんにご家族の脳卒中に関する相談に応じます。

患者支援センター内に相談窓口を設けています。脳卒中の予防、治療、リハビリテーションなどについて、脳卒中療養相談士が相談に応じます。ご来院のほか電話やメールでの相談も承ります。当院に通院していない地域住民の皆様も、どうぞお気軽にご利用ください。



相談窓口はこちらです お気軽にご相談ください

心臓病とは

心臓病とは、心臓の機能や構造に異常が生じて起こる病気の総称です。心臓が全身に血液を送る働きが低下する「心不全」、心臓の弁が機能不全を起こす「心臓弁膜症」、「心筋症」、「不整脈」など、心臓病にはさまざまな種類の病気があります。また、「急性心筋梗塞」、「大動脈解離」、「大動脈瘤破裂」などの血管の病気は、心臓病と深く関わっています。



心臓病の治療について

心臓病の治療では、カテーテルと呼ばれる細く柔軟な管を使って、心臓の弁や血管、電気信号を伝える経路など、機能低下が起きている部分をそれぞれ修復します。体への負担が少ないため、短期間の入院で治療を行うことが可能です。場合によっては、複数の治療

を組み合わせることも行います。治療は「カテーテル室」と呼ばれる、X線を使った特別な部屋で行います。

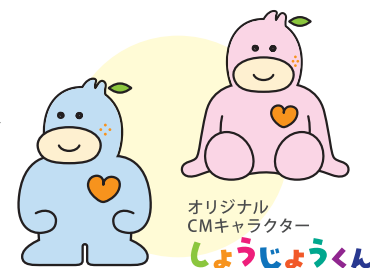
当院では実施施設認定を受け、以下の治療を行っています。



カテーテル治療の様子

〔当院での治療〕

冠動脈形成術、ステント留置術、大動脈弁置換術、僧帽弁接合不全修復術、左心耳閉鎖術、卵円孔閉鎖術、心筋焼灼術、ペースメーカー植込み術、心室再同期療法、植込型除細動器移植術、経静脈リード抜去、肺動脈拡張術、末梢血管形成術



心臓リハビリテーション

「心臓リハビリテーション」と聞くと、心臓にリハビリがいるの?と思う方もおられるかもしれません。リハビリとは本来「人がその人にふさわしい生活を回復すること」を意味します。何かしらの心臓病により、心臓がその人の日常生活を支えられないほど衰えてしまう「心不全」に陥った場合、心臓にもやはりリハビリが必要です。

心臓のリハビリは、心臓の一部の筋肉や神経を鍛えるものではありません。実は、心臓は“手間がかかる”器官で、弱った心臓の回復には適切な服薬、適度な減塩食、適度な有酸素運動といった総合的な療養が必要なのです。



リハビリの様子



薬については薬剤師が説明します



栄養指導担当のスタッフが食事面を支援します



看護師は入院中や退院後の生活についてサポートします

私たち心臓リハビリテーショングループは、医師・看護師・薬剤師・管理栄養士・理学療法士・ソーシャルワーカーから構成される多職種のプロフェッショナルチームです。スタッフ同士で緊密に連携し、患者さんの心臓と日常生活の回復のための心臓リハビリプログラムを一緒に考え、提案し、指導させていただいています。



心臓リハビリテーションチームのスタッフ